

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（ 佐鳴台小 ）学校運営協議会長

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 学校運営・経営について丁寧な説明を受け、熟議することができた。学校・家庭・地域が協力して子供たちを育てるという意識を再確認できた。
- それぞれの立場で子供たちにとって何がよいかを考えることができた。それがまとまっていく過程が、色々な面で増えていくと良いなと思う。

＜評価項目2＞ 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- タイムリーに教育活動の報告を受け、成果や今後の課題について話し合うことができた。予定されている教育活動や地域行事等についても、それぞれの立場で協力できる提案があり、アイデアを出し合うことができた。
- 昼休みの時間の捻出とその有効活用について、学校側の提案に対して地域から具体的な事業提案と人材の提供があり、スムーズに活動へと滑り出したことは大きな成果と言える。
- 民生委員からの「子供たちとの交流から児童理解へとつなげたい」という発言から協議会で熟議をし、シニアクラブ・協働センターのご協力、校長先生のご助言をいただきながら実施につながられたのが良かったと思う。
- 昼休みの交流について地域から具体的な提案と人材の提供がありスムーズに活動へと滑り出したことは大きな成果であった。これは、地域住民にも楽しみが増えたことだと思う。

＜評価項目3＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 今後も変わっていく社会情勢に注視しながら、その時々に必要なアイデアを出し合っていきたい。
- 昼休みを利用して、もっと活動を広げていきたい。
- キャリア教育における継続性、PDCAサイクル等を活用した授業を進めていき、今までのキャリア教育を振り返り、育てたい力をより明確に見える化を図っていきたい。

＜評価項目4＞ 協議会の取り組みや学校運営に資する活動について、保護者、地域と連携し、協働することができたか。

- ファシリテーター、PTA会長などアドバイザーの協力を得て、地域の方々との交流・援助を相当程度成し遂げていると思われる。
- 学校のハード面での充実の必要性について協議したい。
(たとえば、IT・トイレなどの生活環境等)
- 学校運営にボランティア・講師に携わってくださった保護者・地域の方がたくさんいて、うまく機能できているのではないかと思います。